

科目名	診察学 1							年度	2026
英語科目名	Consultation and examination 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	笠井友和	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 診察の方法を理解する。生命徴候の正常状態と異常状態を理解する。顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状を理解する。									
【科目の概要】 診察の基礎を理解し、正しい診察が出来るようにする。四肢長の測定、感覚検査、反射検査の方法を理解し出来るようにする。生命徴候の正常状態と異常状態を理解し患者の病態把握が出来るようにする。顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状を理解し診察に用いることが出来るようにする。									
【到達目標】 A. 診察の基礎である医療面接、視診、触診、打診、聴診の方法が出来るようになる。 B. 四肢長の測定、感覚検査、反射検査の方法を理解し出来るようになる。 C. 生命徴候の正常状態と異常状態を理解出来る。 D. 顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状を理解し診察に用いることが出来るようにする。									
【授業の注意点】 「臨床医学総論」の教科書に則って授業を進行するが、生理学・解剖学などの1年生履修の学習内容が必要となるので復習確認を怠らぬようにすること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	診察の方法、注意事項を理解し、診察に用いて正しい病態把握が出来る	診察の方法、注意事項の大部分を理解し、診察に用いて概ねの病態把握が出来る	診察の方法、注意事項の大部分を理解し、診察に用いて病態把握の方向性が見えてくる	診察の方法、注意事項の一部を理解し、診察に用いて概ねの病態把握の方向性が見えてくる	診察の方法、注意事項を充分理解しておらず、診察に用いることが出来ない				
到達目標 B	測定法・検査法の方法、注意事項を理解し1度行えば正しい結果を得られる	測定法・検査法の方法、注意事項を大部分理解し2度行えば正しい結果を得られる	測定法・検査法の方法、注意事項を大部分理解し3度行えば正しい結果を得られる	測定法・検査法の方法、注意事項を大部分理解し4度以上行えば正しい結果を得られる	測定法・検査法の方法、注意事項を理解しておらず、正しい結果を得ることが出来ない				
到達目標 C	生命徴候の正常と異常を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	生命徴候の正常と異常の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	生命徴候の正常と異常の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察に用いることが出来る	生命徴候の正常と異常の理論的な理解は不充分だが大部分を記憶し診察に用いることが出来る	生命徴候の正常と異常の理論的理解も記憶も不充分で診察に用いることが出来ない				
到達目標 D	顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察に用いることが出来る	顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状の理論的な理解は不充分だが大部分を記憶し診察に用いることが出来る	顔貌、体格・栄養状態、精神の障害症状の理論的理解も記憶も不充分で診察に用いることが出来ない				
到達目標 E									
【教科書】 臨床医学総論 東洋療法学校協会編、自作プリント									
【参考資料】 臨床医学各論 東洋療法学校協会編									
【成績の評価方法・評価基準】 学期末定期テスト(90%)、授業内小テスト(10%)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		診察学 1			年度	2026
英語表記		Consultation and examination 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	診察基礎 1	対話の仕組み、診察の意義・心得、関連用語 1	1 対話の仕組み	診察における対話の重要性を理解する	4	
			2 診察の意義・心得	診察の意義・心得を理解する		
			3 関連用語 1	関連用語を理解し、専門書の読解・患者説明に用いることが出来る		
2	診察基礎 2	関連用語 2、診察の順序、医療面接 1	1 関連用語 2	関連用語を理解し、専門書の読解・患者説明に用いることが出来る	4	
			2 診察の順序	診察の順序を理解し、診察の概要をつかむ		
			3 医療面接 1	医療面接の注意事項、主訴の取り扱いを理解する		
3	診察基礎 3	医療面接 2、視診	1 医療面接 2	現病歴、既往歴、家族歴、社会歴の取り扱いを理解する	4	
			2 視診	視診の方法、注意事項を理解する		
4	診察基礎 4、測定法	触診、打診、聴診、測定法	1 触診・聴診	触診・聴診の方法、注意事項を理解する	2	
			2 打診	打診の方法を実践し、注意事項を理解する		
			3 測定法	四肢の測定法を実践し理解する		
5	神経系の診察 1	感覚検査、反射検査 1	1 感覚検査	感覚検査の意義と方法を理解する	1	
			2 反射検査の注意	反射検査の注意事項を理解する		
6	神経系の診察 2	反射検査 2	1 反射の生理学的復習	反射の生理学的理論を復習して確認する	1	
			2 反射検査の意義	反射検査の意義を理解する		
			3 反射検査実技	反射検査を実践しやり方を理解する		
7	神経系の診察 3、生命徴候 1	反射検査 3、体温	1 原始反射の確認	原始反射のやり方を理解する	2	
			2 体温の基礎	体温の正常と異常を理解する		
			3 熱型	種々の発熱・解熱の型を理解する		
8	生命徴候 2	脈拍 1	1 内分泌疾患の復習	内分泌疾患の種類・名称を復習する	2	
			2 脈拍の基礎	脈拍の正常と異常を理解する		
			3 不整脈 1	種々の不整脈を理解する		
9	生命徴候 3	脈拍 2、血圧 1	1 不整脈 2	種々の不整脈を理解する	2	
			2 血圧の基礎 1	血圧に関する基礎的用語を理解する		
			3 血圧測定	血圧測定を実践しやり方を理解する		
10	生命徴候 4	血圧 2	1 血圧の基礎 2	血圧の正常状態を理解する	3	
			2 高血圧	高血圧の基準、原因を理解する		
			3 低血圧	低血圧の基準、原因を理解する		
11	生命徴候 5、顔貌	呼吸、顔貌	1 呼吸の基礎	呼吸の正常状態を理解する	3	
			2 呼吸の異常	種々の呼吸の異常を理解する		
			3 顔貌	種々の顔貌を理解する		
12	体格、栄養状態	体格、栄養状態	1 体格	種々の体格異常を理解する	3	
			2 標準体重	標準体重の計測を実践し理解する		
			3 栄養状態	種々の栄養状態異常を理解する		
13	精神状態 1	意識	1 意識状態	種々の意識状態異常を理解する	3	
			2 JCS(3・3・9度方式)	JCS(3・3・9度方式)意識レベル分類を理解する		
			3 意識障害	意識障害の原因を理解する		
14	精神状態 2、POS	知能、感情、協調性、見当識、POS	1 知能、感情	知能、感情の異常を理解する	3	
			2 協調性、見当識	協調性、見当識の異常を理解する		
			3 POS	SOAPを中心にPOSを理解する		
15	期末テスト解答・解説	期末テスト解答・解説	1 期末テスト解答	期末テストの解答をする	4	
			2 期末テスト解説	期末テストの解説をする		

評価方法：1.小テスト①、2.小テスト②、3.確認テスト、4.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等